

第 1 回土浦市補助金等検討委員会

議 事 録

第1回土浦市補助金等検討委員会議事録

日時：平成24年7月6日（金曜日）10時～12時

場所：市役所本庁舎2階第2会議室

1 出席者

検討委員：横須賀委員長，説田副委員長，安達委員，荒木委員，飯田委員
（欠席：飯村委員）

事務局：小泉市長公室長，服部行政経営課長，中村財政課長，羽生行政経営課副参事，
塚本行政経営課主査，佐藤財政課課長補佐，中島財政課主査

2 傍聴者：4名

3 議題

- (1) 開会
- (2) 市長挨拶
- (3) 土浦市補助金等検討委員会委員長，副委員長の選任
- (4) 議事
 - ①土浦市の補助金見直しについて
 - ②補助金等の概要について
 - ③検討の進め方について
 - ④スケジュールについて

■配布資料

- ・会議次第
- ・資料1 土浦市補助金等検討委員会委員名簿
- ・資料2 土浦市の補助金見直しについて
- ・資料2-1 平成13年度補助金等検討委員会提言書
- ・資料2-2 平成13年度見直し対象補助金の平成24年度までの変遷
- ・資料3 平成24年度土浦市の財政，補助金の概要
- ・資料4 平成24年度補助金一覧表
- ・資料5 委員会における検討の進め方（案）
- ・資料5-1 補助金等評価シート（案）
- ・資料6 委員会のスケジュール（案）
- ・参考資料1 土浦市補助金等検討委員会規則
- ・参考資料2 土浦市補助金等交付規則

■開会

（事務局）ただいまから第1回土浦市補助金等検討委員会を開催いたします。

なお、本日の会議につきましては、「土浦市審議会等の会議の公開に関する要項」に基づき、会議を公開しておりますので、よろしくお願いたします。

開催にあたりまして、中川市長からご挨拶を申し上げます。

■市長挨拶

(市長) 土浦市補助金等検討委員会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

委員の皆様におかれましては、お忙しい中、補助金等検討委員をお願いしましたところ、快くお引き受けいただき、心から感謝を申し上げます。

さて、社会経済情勢は、東日本大震災からの復興が本格的に始動し景気回復の兆しは伺えるものの、国における税と社会保障の一体改革や生活保護受給世帯が最多となるなど、先行きに不透明感や不安感が拡大している状況にあります。

また、地方では地域主権の時代になって、地方の創造力とともに、財政などしっかりと自らの足元を見つめた行政経営が求められております。

そうした中で、私は、市政運営の基本姿勢に行財政改革の推進を掲げまして、持続可能なまちづくりを目指し、債務の縮減や職員の適正化など様々な改革への取組を進めてまいりました。

このたびは、その一環として、補助金を取り上げることといたしました。

補助金が抱える課題への取組みとしましては、平成13年度に補助金等検討委員会において検討作業を行い、見直しを進めてきておりますが、一定の年月が経過し、社会経済情勢が大きく変化したこともあり、改めての検討の必要性を強く感じております。

この補助金の役割につきましては、行政的なサービスを提供する民間事業への支援や、行政と市民との協働のまちづくりを進める基盤になるなど、その必要性や重要性が年々高まる一方で、長年にわたり補助金が固定化される傾向にあるなど、多くの課題も内在していると思われまます。

本市では、平成22年度及び23年度は、県内初の事業仕分けを実施し、市が実施している事務や事業について、市の業務の根本的なあり方を第三者の視点で評価し、予算編成の参考としてまいりました。

今般は、この事業仕分けの経験・手法を活かし、補助金について同じような視点から評価、検討し、補助金のあり方を整理していただきまして、行財政改革に努めるとともに、来年度からの第7次総合計画の後期計画にあたり、補助金の見直しを施策へ反映させ、限られた財源の中で、有効かつ効果的な補助金制度を構築し、健全な財政運営に努める所存であります。

委員の皆様におかれましては、本日から大変厳しいスケジュールでの御検討お願することになりますが、この委員会の趣旨について御理解をいただきますとともに、御協力をお願い申しあげ、ご挨拶といたします。

■土浦市補助金等検討委員会委員の紹介

(事務局) 次に、補助金等検討委員会の委員を紹介させていただきます。

(委員紹介)

また、本日出席しております市職員につきましては、お手元の名簿のとおりでございます。

■土浦市補助金等検討委員会委員長・副委員長の選任

(事務局) 次に、会議次第の3番目、委員長及び副委員長の選任を行いたいと思います。

当委員会は、委員会規則第4条の規定により、委員長及び副委員長を置き、委員の互選によるとされております。委員長が選任されるまでの間、市長が議長となり、会議を進めてまいりたいと存じますので、よろしく願いいたします。

(市長) 暫時、議長の役を務めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

先ほどの説明のとおり、委員長、副委員長の選出につきましては、規則第4条の規定によりまして委員の互選によることとなっております。選出方法をどのようにしたらよろしいか、お諮りいたします。

(市長一任の声)

(市長) ただいま、市長一任との声をいただきましたので、私からご指名させていただきますと存じますがいかがでしょうか。

(異議なしの声)

異議なしとのことですので、私から指名させていただきます。

それでは、委員長には、常磐大学の横須賀委員に、副委員長には、行財政改革推進委員会委員を務められております説田委員をお願いいたしたいと存じます。皆様方よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

(市長) 皆様方のご同意も頂戴いたしまして、委員長、副委員長が選任されましたので、横須賀委員長にこれからの会議の進行をお願いいたしまして、私の議長の任を降ろさせていただきます。

(事務局) ありがとうございます。それでは、横須賀委員長、議長席をお願いいたします。

それでは、ご挨拶をお願いします。

(委員長) 横須賀でございます。よろしく願いいたします。市長の挨拶の中にも行財政改革のお話がありましたが、行財政改革を進めていく、そして、選ばれたものに集中的に行政を集約していくと言うことであろうと思いますが、まず、その選ぶ部分の一端を我々が担っていくのかなと思っております。

十数年前とは状況が随分違う中で、補助金も毎年毎年整理はしていると思いますが、やはり世の中のしがらみの中でズルズルとなっている部分があるかと思います。

そういう意味では、それぞれの視点で思ったことを自由に発言するような場で形を作って行ければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(事務局) ありがとうございます。続いて、説田副委員長、ご挨拶をお願いします。

(副委員長) 説田でございます。市長がおっしゃられた持続可能な社会と言うのは私どもの時代は大丈夫であろうと思いますが、我々の子供達やこれから生まれてくる世代の為に大好きな土浦を良い形で残してあげたいと思っております。

そういった視点から、いま本当に厳しい時代の中で、我々もしかすると憎まれ役を受け持つと言うところがあるかと思いますが、そこは心を締めて、委員長を中心に良い形のを市長に提言して、実現に向けて頑張っていきたいと思いで、よろしく願いいたします。

(事務局) ありがとうございます。ここで市長は所要により退席させていただきます。

(市長退席)

■議事

(事務局) それでは、これからの議事進行は委員会規則4条2項規定によりまして横須賀委員長をお願いいたします。

(委員長) それでは、進めさせていただきますが、副委員長から憎まれ役と言うご挨拶でありましたが、憎まれ役にはならず、理屈の通った整理の仕方を行い、如何に公平な目で行政が行われるかと言う部分を、私たちが外からの目で、情報として行政に上げられれば、次の段階に行くと思えます。

それでは、本日の議題について、ご協議を願いたいと思えます。

議事の1番目は、「土浦市の補助金見直しについて」に入りたいと思えます。事務局から説明を願います。

(事務局) 配布資料の確認、説明

(委員長) ただいまの説明について、ご質疑、ご意見等はございますか。

(委員) 個別の補助金の内容を検討するにあたり、例えば団体に対する補助金があった場合に、その団体の全体の収入に対する補助金の構成割合や用途等については、資料としては出てくるものなのでしょうか。

(事務局) 個別の報告書や決算報告なりありますが、一元的に管理、比較できるように統一したシートでご提示したいと考えています。

(委員長) 今日の会議のイメージとしては、3番目にある検討の進め方の部分で、その様なシートの検討等をしたいと思えます。

(委員) 繰越金がありますが、多額の繰越金額とか全体像等とかは、お示されるのですか。また、平成13年度の補助金の見直しの中で、削減でも増えている補助金がありますが、これはどのように考えればよろしいのでしょうか。統合のものについては、どのようになっているのでしょうか。

(事務局) まず、繰越ですが、今後繰越金について把握できるシートを作成していきたいと考えています。前回も繰越につきましては問題になりましたが、繰越のみを捉えてその補

助金について検討するだけでなく、その他の評価や目的等を含め検討いただくよう全体を表すシートを作成していきたいと思います。

それから、補助金が増えている案件につきましては、一概に言えませんが、10年前と現在と社会情勢の変化があり、現在問題の深刻度が増しているもの等に対し、補助金の効果を高めるため金額等が増えているものもあります。また、市町村合併との関係で増えているものもあります。

また、統合した補助金につきましては、削減するための統合ですので、基本的には削減されています。

(委員) 統合された場合に、繰越金は統合されるのですか。その補助金は何処に行くのですか。

(事務局) 基本的には統合されたものは、繰越金も統合されています。団体の繰越ですので、補助金の繰越はありません。

(委員長) 次に、議事の2番目、「補助金の概要等について」に移ります。事務局から説明をお願いします。

(事務局) 説明

(委員長) ただいまの説明について、ご質疑、ご意見等がございますか。

(委員) ここに示されている補助金は予算額ですが、実績はどうなっているのでしょうか。予算措置されたものは、全て使い切るのか、それとも、実際には残っている補助金はあるのでしょうか。それと、予算と実績を対比するのは何時するのでしょうか。それは検討しないのでしょうか。

(事務局) この資料は予算となっており、補助金につきましては決算がございまして、個別のシートで決算を網羅したものをお示ししていきたいと思います。

(委員) 決算と予算との乖離は、市では検討されないのですか。

(事務局) 当然予算額と決算額の検証は、予算額は前年度の実績に基づき査定しておりますが、毎年定額で予算付けされている部分もありますので、そういったものも検討の課題になると考えています。

(委員) 補助金を検討する上で、そういうものを管理していただければと思います。

(委員長) いままでの補助金の管理は予算化されれば担当課が予算額を補助金として交付していた。基本的には精算では無くて、決算を見て次年度の予算編成の時に内容を見ていた。後は、担当課が何処まで関わったかはありますが、基本的には予算化されれば、補助金は支出されていたと理解できると思います。

(事務局) 補助金が予算化されたものについて決算がどうなのかと言いますと、補助金にも種類がありまして、団体運営補助等ですと概ね定額又は予算で金額を決めたものが多く、個人補助等ですと、1件あるいは1世帯の単価に世帯分を乗じて予算決めをしています。そういった性質の違いがありますので、一般的には団体補助につきましては、概ね予算どお

りの執行がされ、個人に対する補助については、例えば100世帯の予算取りをしたが、実際には応募が90世帯しかなかった場合は、予算と決算を比較したときには余りが出ると言った状況です。

(委員) 予算を出すのは決算が終わる前だと思いますが、決算が予算に反映されるのは何時の時点になりますか。

(事務局) 補助した団体の決算が4~5月になるかと思います。新しい年度が始まっていますので、その決算が予算に反映されるのは次年度になります。

(委員長) タイムラグが出来てしまうので、そのことも、何か良いやり方があるかも知れませんが、検討の課題にしましょう。

(委員) 妊産婦さんの補助金とか不妊治療補助金等こう言ったものは、市で予算をもったまま処理されていく形のものかと思いますが、団体に渡して処理されるものとあると思いますので、それを明確化していただけると分かりやすいと思います。

(事務局) 個人への補助につきましては、各個人からの申請に基づき交付しており、団体につきましても、団体からの申請に基づき交付しておりますが、団体の中にも市に事務局を置いている団体もございますので、それは、その団体事務局である市の部署が管理しております。市で区分させていただいているのは、団体、個人等交付対象に視点を置いておりますが、団体が管理しているものと、市が管理している部分がありますので、そこは明確に区分したいと思います。

(委員長) それでは、いづれにしても議事の3番目「検討の進め方について」で、全てについて議論できますので進めさせていただきたいと思います。

(事務局) 説明

(委員長) ただいまの説明について、ご質疑、ご意見等はございますか。

(委員) 補助金の評価シートは165件全ての補助金に関して出てくるのですか。

(事務局) 165件全てに関して評価シートを出さしていただく予定です。

(委員) 個人に対する評価シートは、共通のIだけですけれども、この内容に補助1件幾らで何件に対して補助するとして予算が組まれて、それに対して実績がどうだったのかと言う書く欄がないのですが、予算と決算の対比に関して、団体補助はあるが、個人に対する包括的な調書が付けていただきたいと思います。

(委員長) シートのIIは団体向けであるが、個人についても決算状況が分かるようなシートを工夫して作るようお願いいたします。

(事務局) 個人向けの補助につきましては、一覧表の中で必要な情報を盛り込む予定でしたが、個人用の執行状況を示した個別シートを付けさせていただきます。

(委員長) 少なくとも3年分くらいの内容を知りたいと思いますので、分かる範囲でその個別シートを作成していただきたい。

(委員) 例えば、防犯灯の設置等補助金については、毎年同じ金額で予算され、支出されて

いるようですが、こう言ったものについても単価や地区数を示していただきたい。毎年毎年同じ金額が出ていくというのも不自然さを感じますので、明細として資料をいただけるとありがたいと思います。

(事務局) 本日お示ししました資料は現在ある補助金の概略となっており、次回以降審査をしてく中で、お話しいただきました情報を次回示していきたいと思います。

(委員) 検討作業の流れについて165件の対象案件がありますが、次回で個別審査するか、包括審査するか確認するが、それまでに事務局の方で、どこまで選別して分類するのか予定していますか。

(事務局) 選別につきまして、評価シートごとに物差しをあてまして、選別のたたき台のようなものを提示させていただきたいと考えています。その資料を事前にお配りする予定です。

(委員長) その選別で、対象外もあると思いますが、評価シートは出てくるので、その中でも委員が聞きたい部分もあろうかと思いますが、我々は次回の委員会の前に評価シートは見られるが、対象外が分かるような資料を示していただきたい。

なお、審査区分の部分で、13年度の検討結果、補助金の性質、長期化、金額、繰越金等の基準で評価し、点数の高いものを抽出するが、我々は今回この評価点数等が良いか議論する必要がある。

その時に、前回は評価をしているが、事業補助と運営補助は性格が異なり、悪く言えば団体を継続させるための補助金が運営補助であり、事業補助は事業の性格の議論ができる。

団体に対する運営補助そのものが要らないと言う議論はできないが、その運営に出しても良いのかと言うことはある。今の一般的な世の中の流れでは、運営補助は無くしていこうと言う流れである。事業補助に切り替える方向にあり、団体が継続するための補助金では無く、団体が担っている事業の補助金として付ける。そこに人件費が入るかもしれないが、事業に対する補助にする流れである。

平成13年度に廃止となっているもので残っているものは検討の対象として良いと思うが、点数の付け方を考えなくてはならない。

補助率の要件でも、市が主体の補助金は10分の10になり、一方、市民が主体である補助金が10分の10出すのはおかしいということになる。その場合、2分の1か3分の1がアップなのか、それをクリアしてないものは点数を高くしていくとかの配分がある。また、前回は小額補助を対象としていたが、今回25万円以下は0点となっている。繰越金があるものは、1年補助しなくて良いということもある。また、視察や会議費の比率が高いものをどうするか。慶弔費は、何らかの形でチェックし、テーブルに乗せることが必要である。このような経費は決算の中で明示させることが必要である。団体は会計を分けることも考えていかないといけない。

現在の点数で選別するものと、慶弔費は全て出して、若しくは食糧費の比率や旅費の比

率等の考え方も必要である。

場合によっては、その様なものを包括して検討すれば良いと思うので、まとめ方を検討いただきたい。

皆様から、これとこれとが包括的に検討した方が良いと言うものがあれば言っていただければと思います。

(委員) 委員会で色々なものを決めていく流れの話ですが、今回は事業仕分けの手法を取り入れるが、市民判定員的なものは入れず、我々6名で賛否をとって多数決で決めていくというのが案ですが、圧倒的多数で結果が出たものは良いが、同数や近数のものは数字だけで決めることには、もう一度我々クールダウンして見直す場面を設けた方が良いと思います。

それは、私も事業仕分けに出させていただいて、説明者のプレゼンの善し悪しがあるので、数字だけで表れない部分を精査する時間を設けた方が良いと思います。今後個別審査を3回行い10月にまとめることとなるが、3回で決まったことがそのまま提言に反映されてしまうので、ワンクッションおいて検討することが必要と思います。

(委員長) 今回は基本的には事業仕分けとは異なり、事業仕分けはぼっさりと切り込むことで結論を得るが、補助金等検討は多数決で結論を得るだけではなく、最後の結論は市がどの様にしていくかが大切で、そこから、評決だけではない結論にしていきたい。

(委員長) その他、こう言うフィルターがおかしい等意見はありますか。

(委員) 補助金の対象を示してもらう時に、検討材料として具体的に何時から補助が出ているのか示していただきたい。また、今話題になっている不妊治療費の補助金等フィルターにかける時、他市との比較をして検討したいので、他市の状況を示していただきたい。福祉や健康増進の分野では、他市との比較を市民はしている。

(委員長) 今のお話は全てに対して他市の比較を出すのは難しいので、次回に何を議題にするか決まりますので、その中から他市の比較を出してもらうようお願いしたい。

(委員) 今回対象を選ぶのは7月31日に、この委員会で選ぶと言うことでよろしいですね。

(委員長) はいその通りです。事務局には、その資料を作ってくださいとのことです。

(委員) 補助金等の評価シートⅡページ2ですが、収入支出は全部単年度だけのものですが収支ベースか正味財産増減の損益ベースですか。

(事務局) それは、収支ベースキャッシュフローとなっており、団体の資産状況までは網羅していません。

(委員) 繰越金は単年度のみか、累積の繰越金は貸借対照表があれば分かるので、それは出していただけなのか。

(委員長) ものによっては、要求させていただくこととなると思うが、前年度の繰越金は収入に入ってくる決算になっている。ただ、別会計へ積立等すれば分からない部分はある。

個別に必要ながあれば団体の決算書を示していただくこととしたい。

(委員長) 今のお話をまとめさせていただきますと、点数配分は現在の表とさせていただきます

と思います。個別の表は事前に見られますので、現在の形で事務局で整理をしていただき、また、事前に外すものは調書上で明示していただき、視察研修費、食糧費、慶弔費の割合が高いものが出てくる。その他に31日の時点で、必要があるものに対し決算書、他市との比較表等を要求させていただきたい。

(委員) 予算として計上されたが事業ベースで支出されなかったものや逆に要望が多かったのに予算が足りなかったものなど、逆に補助金を増やしてあげたいものもあると思いますので、お示しいただきたい。

(委員長) 補助金は申請に基づき支出していくもので、決算上大きく余ってしまったものや、早期に予算が無くなってしまったものを分かるように調べていただきたい。このような問題は、立場によって善し悪しがあるので、委員会として検討したいと思います。

(委員) 補助金で太陽光や合併浄化槽等1回補助したら終わるが、不妊治療等はどれだけの対象にいきわたっているものなのか知りたいと思います。

(委員長) その辺は、調書にまとめるのは難しいと思いますので、調書を見た後に31日に検討したいと思います。

(委員長) それでは、基本的には市の案で評価シートを作成していただき、また、今日の話に出たリストも作成していただきたいと思います。

(事務局) ただいま色々出させていただきました情報を盛り込んだ資料を、出来る限り次回の開催1週間前に届けたいと考えております。

(委員長) 次回開催前の週末までに届け出いただければと思います。また、この日程で委員の皆様はよろしいでしょうか。その中で、一度午後4時からの開催がありますが、夜に開催することをご了承いただきたいと思います。本日の議論はこれで終了させていただきます。

(事務局) 横須賀委員長ありがとうございました。

以上をもちまして本日の委員会を終了いたします。本日は、誠にありがとうございました。

■閉会